

高齢者の健康づくり

◆ 地域リハビリテーション

コロナ禍により中止していたが今年度 3 か所の地域で再開された。

◆ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

・ポピュレーションアプローチ

(公民館などのつどいの場等を活用した健康学習や健康相談、介護予防活動等の支援)

《出前講座での健康測定》

健康づくり推進員とともに、健康測定や血圧測定を実施し、自身の健康を振り返るきっかけづくりを行った。



・ハイリスクアプローチ (健康課題がある人へのアウトリーチによる個別的支援)

後期高齢者健診受診率 9.53%(令和 3 年度)

福岡県平均11.8%

《健康状態不明者への取組》

・目的

健診未受診者または医療機関未受診者等で健康状態の把握が出来ていない高齢者に対して、質問票を活用し、生活習慣病予防やフレイル予防につなぐことで、市民の健康づくりや介護予防を支援する。

・実施方法

健康状態不明者130人に対し、質問票を郵送した。

対象者	返信者数	訪問者数※	(うち包括への新規紹介者数)
130 人	52 人	56 人	1 人

(健康状態不明者130人のうち、22人はKDBシステムの問題で対象外である可能性が分かったため除外した。)

※訪問者数:健康状態不明者130人のうち、質問票の返信がなかった人へ訪問

《未治療・治療中断者、重症化予防対象者への取組》

・目的

後期高齢者健診結果をもとに、未治療・治療中断者及び健診結果でのハイリスク対象者へ保健指導を実施することで、生活習慣病重症化予防を図る。

	対象者	保健指導実施者数
未治療・治療中断	26 人	7 人
重症化予防(糖尿病性腎症)	12 人	6 人
重症化予防(高血圧)	43 人	31 人

(令和 5 年 1 月末時点)

【課題】

・新型コロナウイルス感染症の流行により減少していた教室や自治会活動が少し復活してきたが、行政区で開催回数などの差がある。

・後期高齢者健診受診率が低い。ポピュレーションアプローチ時に健診受診を勧めているが病院に受診しているからと断られる場合が多い。